

アーバン・イノベーション・ジャパンの本格稼働に至る実証実験の概要

< 実証実験の内容 >

(1) 目的

空き家調査アプリ及びデータベースを官民協働で開発

(2) 実施期間

令和2年12月から令和3年3月まで(約4か月間)

(3) 協働企業

株式会社ユニフィニティー(東京都)

< 現地調査の状況 >

(1) 実施方法

スマートフォンにダウンロードしたアプリを用いて、現地実験を3回実施
空き家に見立てた公共施設を対象に現地調査。使いやすさなどを確かめた。

(2) 空き家調査アプリの機能

空き家の状況入力(設問回答方式)、写真撮影、地図位置情報取得

(3) 実験協力者

空き家対策ナビゲーター、NPO 法人兵庫空き家相談センター

< 実証実験の成果 >

実証実験の結果、次のことが確認できた。

(1) 調査用具の削減

空き家調査アプリを使うことで、スマートフォンを持参していれば、現地で調査が可能になるため、調査のために持参する用具が削減できる。

(2) 作業時間の短縮化

調査結果は、現場からデータベースに簡単に送信できるので、プロセスが省力化され、作業時間が大幅に短縮化できる。(3日 約5分に短縮)

(3) 高い操作性

実験参加者に対するアンケートで、「アプリの使いやすさ」について質問したところ、「良い」と回答した人の割合が88%であった。